第1章　令和7年度　行財政の概況

第1節　決算の概況

関川村の令和7年度の一般会計と特別会計の決算額は、次のとおりです。

（1）一般会計と特別会計

歳入歳出決算状況　　（単位：千円）

会計名		歳入決算額 A	歳出決算額 B	差引 A−B=C	翌年度へ繰り越すべき財源 D	実質収支 C−D	単年度収支	財政調整基金積立・取崩	実質単年度収支
1	一般会計	6,879,890	6,643,307	236,583	17,321	219,262	△ 47,093	81,471	34,378
特別会計	2 国民健康保険事業	619,966	612,417	7,549	0	7,549	△ 3,035		△ 3,035
	3 国保関川診療所	91,637	83,292	8,345	0	8,345	△ 1,885		△ 1,885
	4 介護保険事業	926,961	842,723	84,238	0	84,238	△ 2,232		△ 2,232
	5 後期高齢者医療	90,433	90,274	159	0	159	△ 184		△ 184
	6 宅地等造成	1,969	0	1,969	0	1,969	0		0
	7 村有温泉	2,139	2,139	0	0	0	△ 92		△ 92
		8,612,995	8,274,152						

一般会計と特別会計決算額の単純合計は、歳入86億1，299万5千円、歳出82億7，415万2千円となりました。

一般会計の歳入は68億7，989万円（前年度比4億8，993万9千円増）となりました。主な要因は、地方交付税の増（前年度比3億86万9千円の増、うち防災無線更新事業による特別交付税の増1億8，339万2千円）、国庫支出金の増（前年度比1億7,959万円増、うち脱炭素先行地域づくり事業国庫補助金の増4億4，320万2千円、公共土木施設災害復旧費国庫負担金の減▲2億4，066万7千円）です。

歳出は、66億4，330万7千円（前年度比5億5，341万2千円増）となりました。災害復旧費が前年度比5億8，393万5千円減額しましたが、脱炭素推進事業と防災無線更新事業により総務費が前年度比9億9，861万円増額しました。

（2）繰越明許費の状況

（単位：千円）

事業名	翌年度繰越額	左の財源内訳				
		既収入特定財源	未収入特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	受益者負担	
安心安全対策費	13,500			11,300		2,200
地域振興費	3,544					3,544
商品券発行事業費	46,920		38,855			8,065
脱炭素推進事業費	276,129		276,129			
戸籍住民基本台帳事務費	2,783		2,783			
住民税非課税世帯価格高騰対策事業費	2,005		1,000			1,005
物価高対応子育て応援手当給付事業費	202		202			
県営土地改良事業負担金	7,000			7,000		
道路橋りょう維持費	13,000			13,000		
現年発生災害復旧事業費	3,500		980		13	2,507
合計	368,583	0	319,949	31,300	13	17,321

（3）財政指標

（単位：千円，％）

区　分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
標準財政規模		3,448,401	3,431,019	3,518,425
健全化判断比率	実質赤字比率	－	－	－
	連結実質赤字比率	－	－	－
	実質公債費比率（3か年平均）	12.4	12.5	11.8
	将来負担比率	16.7	13.7	2.3
経常収支比率		86.7	86.2	87.2
財政力指数（単年度） 3か年平均		(0.215) 0.214	(0.214) 0.215	(0.210) 0.213
基準財政需要額		3,267,999	3,243,910	3,355,713
基準財政収入額		702,430	695,401	705,109
標準税収入額		866,402	857,153	867,821
地方債年度末現在高		5,036,600	4,928,010	4,887,807
債務負担行為翌年度以降支出予定額（一般財源等）		43	967,921	3,597
経常一般財源比率		100.5	101.4	101.4

財 政 用 語

実質赤字比率…一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

連結実質赤字比率…一般会計と特別会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

実質公債費比率…公債費の元利償還金等の標準財政規模に対する比率。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(A+B+C+D+E) - F}{G - F}$$

A:公債費充当一般財源(繰上償還等を除く)
B:公債費に準ずるもの(「準元利償還金」という=公営企業債の元利償還金対する普通会計からの繰入金等)
C:一部事務組合が起こした地方債に充てたと認められる負担金
D:公債費に準ずる債務負担行為充当の一般財源
E:一時借入金利子償還金
F:普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された地方債元利償還金及び準元利償還金
G:標準財政規模＋臨時財政対策債

将来負担比率…村が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

形式収支…歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いたものをいいます。

実質収支…形式収支から、継続費、逓次繰越、繰越明許費、事故繰越、事業繰越及び支払繰延べに伴い翌年度へ繰越すべき財源を差し引いたものをいいます。いいかえれば本来当該年度に属すべき収入と支出との実質的な差額です。

単年度収支…当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたものをいいます。

実質単年度収支…単年度収支に当該年度において積み立てた財政調整基金積立金及び地方債の繰上償還金を加え、これから当該年度において取り崩した財政調整基金積立金の額を差し引いたものをいいます。

実質収支比率…標準財政規模に対する実質収支の割合。

財政力指数…財政力を測定する一つの尺度として財政力指数があります。これは全国的に見て標準的な行政を行う場合に必要とされる経費(基準財政需要額)と、それを賄うために必要とされる標準的な収入(基準財政収入額)を比較したものです。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \text{の過去3カ年の平均}$$

公債費比率…理論的に算出した一般財源総額に占める公債費の償還に充てた一般財源の割合。

起債制限比率…公債費比率に、普通交付税の算定において基準財政需要額に事業費補正として算入された公債費を加味した過去3ヶ年度の平均値で、財政運営の弾力性を表します。この比率により地方債が制限されます。

公債費負担比率…一般財源総額に占める公債費償還に充てた一般財源の割合で、財政運営の弾力性を表す。実質的な公債費負担の状況をみる場合に使われます。

経常収支比率…経常一般財源総額に占める経常経費に充てた一般財源の割合で、財政構造の弾力性を測定する比率です。通常、経常一般財源総額には、減税補てん債及び臨時財政対策債を含める扱いとなっています。

経常一般財源比率…標準財政規模に対する経常一般財源収入額の割合で、100を超える度合いが高いほど歳入構造に弾力性があることを示します。

第2節　一般会計

1．総括

①歳入決算額　　（単位：千円）

区　分	令和6年度		令和7年度		増　減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率%
1　村税	628,336	9.8%	641,338	9.3%	13,002	2.1
2　地方譲与税	91,157	1.4%	92,519	1.3%	1,362	1.5
3　利子割交付金	158	0.0%	833	0.0%	675	427.2
4　配当割交付金	3,458	0.1%	3,467	0.1%	9	0.3
5　株式等譲渡所得割交付金	4,274	0.1%	4,993	0.1%	719	16.8
6　法人事業税交付金	10,330	0.2%	10,224	0.2%	△ 106	△ 1.0
7　地方消費税交付金	130,122	2.0%	140,521	2.0%	10,399	8.0
8　環境性能割交付金	8,895	0.1%	8,151	0.1%	△ 744	△ 8.4
9　地方特例交付金	20,053	0.3%	1,504	0.0%	△ 18,549	△ 92.5
10　地方交付税	2,824,457	44.3%	3,125,326	45.4%	300,869	10.7
11　交通安全対策特別交付金	659	0.0%	622	0.0%	△ 37	△ 5.6
12　分担金・負担金	7,954	0.1%	13,220	0.2%	5,266	66.2
13　使用料・手数料	98,658	1.5%	99,266	1.4%	608	0.6
14　国庫支出金	1,014,772	15.9%	1,194,362	17.4%	179,590	17.7
15　県支出金	416,971	6.5%	330,021	4.8%	△ 86,950	△ 20.9
16　財産収入	16,626	0.3%	14,394	0.2%	△ 2,232	△ 13.4
17　寄附金	63,051	1.0%	87,802	1.3%	24,751	39.3
18　繰入金	55,425	0.8%	143,744	2.1%	88,319	159.3
19　繰越金	318,075	5.0%	300,056	4.4%	△ 18,019	△ 5.7
20　諸収入	170,633	2.7%	175,327	2.5%	4,694	2.8
21　村債	505,887	7.9%	492,200	7.2%	△ 13,687	△ 2.7
合　計	6,389,951	100.0%	6,879,890	100.0%	489,939	7.7

②歳出目的別決算額　　（単位：千円）

区　分	令和6年度		令和7年度		増　減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率%
1　議会費	51,350	0.9%	57,937	0.9%	6,587	12.8
2　総務費	1,432,802	23.5%	2,431,412	36.6%	998,610	69.7
3　民生費	1,013,253	16.6%	976,026	14.7%	△ 37,227	△ 3.7
4　衛生費	364,424	5.9%	439,896	6.6%	75,472	20.7
5　農林水産業費	324,183	5.3%	346,434	5.2%	22,251	6.9
6　商工労働費	362,510	6.0%	401,952	6.0%	39,442	10.9
7　土木費	777,193	12.8%	746,648	11.2%	△ 30,545	△ 3.9
8　消防費	282,938	4.6%	271,929	4.1%	△ 11,009	△ 3.9
9　教育費	344,609	5.7%	396,050	6.0%	51,441	14.9
10　災害復旧費	608,305	10.0%	24,370	0.4%	△ 583,935	△ 96.0
11　公債費	528,328	8.7%	550,653	8.3%	22,325	4.2
12　諸支出金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0
合　計	6,089,895	100.0%	6,643,307	100.0%	553,412	9.1

〈地方財政状況調査との調整〉

総務省の地方財政状況調査数値には、次の調整を行って報告しています。
＊地方財政状況調査＝通称・決算統計

1）歳入

区　分	調整額
12　分担金・負担金	△ 466
13　使用料・手数料	1,761
14　国庫支出金	△ 41,999
15　県支出金	△ 4,196
19　繰越金	0
20　諸収入	23,899
21　村債	20,000
合　計	△ 1,001

2）歳出

区　分	調整額
1　議会費	△ 862
2　総務費	29,345
3　民生費	△ 1,683
4　衛生費	△ 17,347
5　農林水産業費	60,471
6　商工労働費	△ 20,265
7　土木費	△ 70,722
8　消防費	62
10　災害復旧費	0
11　公債費	20,000
合　計	△ 1,001

（単位：千円）

区　分	調整額
1　人件費	11,554
2　物件費	△ 1,001
5　補助費等	△ 20,000
6　公債費	20,000
10　繰出金	△ 11,554
合　計	△ 1,001

（注）各区分の合計欄の増減額の内訳は次のとおりです。
○歳入　・後期高齢者保健事業受託収入△1,001千円
○歳出　・特定健康診査委託料△1,001千円

③歳入決算額（地方財政状況調査報告数値）

（単位：千円）

区　分	令和6年度		令和7年度		増　減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率%
1　村税	628,336	9.1%	641,338	9.3%	13,002	2.1
2　地方譲与税	91,157	1.3%	92,519	1.3%	1,362	1.5
3　利子割交付金	158	0.0%	833	0.0%	675	427.2
4　配当割交付金	3,458	0.1%	3,467	0.1%	9	0.3
5　株式等譲渡所得割交付金	4,274	0.1%	4,993	0.1%	719	16.8
6　地方消費税交付金	130,122	1.9%	140,521	2.0%	10,399	8.0
7　環境性能割交付金	8,895	0.1%	8,151	0.1%	△ 744	△ 8.4
8　法人事業税交付金	10,330	0.2%	10,224	0.1%	△ 106	△ 1.0
9　地方特例交付金	20,053	0.3%	1,504	0.0%	△ 18,549	△ 92.5
10　地方交付税	2,824,457	41.1%	3,125,326	45.4%	300,869	10.7
11　交通安全対策特別交付金	659	0.0%	622	0.0%	△ 37	△ 5.6
12　分担金・負担金	6,763	0.1%	12,754	0.2%	5,991	88.6
13　使用料・手数料	101,701	1.5%	101,027	1.5%	△ 674	△ 0.7
14　国庫支出金	935,155	13.6%	1,152,363	16.8%	217,208	23.2
15　県支出金	406,753	5.9%	325,825	4.7%	△ 80,928	△ 19.9
16　財産収入	16,626	0.2%	14,394	0.2%	△ 2,232	△ 13.4
17　寄附金	63,051	0.9%	87,802	1.3%	24,751	39.3
18　繰入金	55,426	0.8%	143,744	2.1%	88,318	159.3
19　繰越金	417,770	6.1%	300,056	4.4%	△ 117,714	△ 28.2
20　諸収入	237,729	3.5%	199,226	2.9%	△ 38,503	△ 16.2
21　村債	426,192	6.2%	512,200	7.4%	86,008	20.2
合　計	6,389,065	92.9%	6,878,889	100.0%	489,824	7.7

④歳出目的別決算額の財源内訳（地方財政状況調査報告数値）　（単位：千円）

区分	決算額			財源内訳					増減	
	令和6年度	令和7年度	構成比	国県支出金	使用料手数料負担金寄附金	地方債	その他	一般財源	増減額	増減率%
1 議会費	50,771	57,075	0.9%	0	0	0	0	57,075	6,304	12.4
2 総務費	1,450,781	2,460,757	37.0%	816,950	91,007	306,600	95,984	1,150,216	1,009,976	69.6
3 民生費	1,014,873	974,343	14.7%	271,868	7,024	38,400	11,515	645,536	△ 40,530	△ 4.0
4 衛生費	342,970	422,549	6.4%	5,279	7,599	7,100	67,134	335,437	79,579	23.2
5 農林水産業費	386,998	406,905	6.1%	128,616	2,723	38,100	4,113	233,353	19,907	5.1
6 商工労働費	342,992	381,687	5.7%	11,978	51,338	60,000	88,752	169,619	38,695	11.3
7 土木費	710,220	675,926	10.2%	68,077	20,777	45,100	5,090	536,882	△ 34,294	△ 4.8
8 消防費	283,062	271,991	4.1%	31	0	2,600	58	269,302	△ 11,071	△ 3.9
9 教育費	344,609	396,050	6.0%	22,895	4,157	10,000	18,825	340,173	51,441	14.9
10 災害復旧費	613,405	24,370	0.4%	19,315	610	4,300	0	145	△ 589,035	△ 96.0
11 公債費	548,328	570,653	8.6%	0	6,930	0	20,000	543,723	22,325	4.1
12 諸支出金	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	6,089,009	6,642,306	100.1%	1,345,009	192,165	512,200	311,471	4,281,461	553,297	9.1
歳入振替額	0	0		133,179	9,418	0	345,949	△ 488,546		
歳計剰余金又は翌年度歳入繰上充用金	300,056	236,583		0	0	0	0	236,583		
歳入決算額	6,389,065	6,878,889		1,478,188	201,583	512,200	657,420	4,029,498		

⑤歳出性質別決算額の財源内訳（地方財政状況調査報告数値）　（単位：千円）

区分	決算額			財源内訳					増減	
	令和6年度	令和7年度	構成比	国県支出金	使用料手数料負担金寄附金	地方債	その他	一般財源	増減額	増減率%
1 人件費	906,456	982,330	14.8%	38,696	17,533	0	13,315	912,786	75,874	8.4
2 物件費	1,111,866	1,146,424	17.3%	61,125	70,911	21,100	97,068	896,220	34,558	3.1
3 維持補修費	280,804	271,427	4.1%	44,989	4,748	0	5,972	215,718	△ 9,377	△ 3.3
4 扶助費	290,078	286,282	4.3%	193,700	0	7,100	4,588	80,894	△ 3,796	△ 1.3
5 補助費等	890,110	1,024,090	15.4%	114,522	4,041	44,500	71,658	789,369	133,980	15.1
6 公債費	548,328	570,653	8.6%	0	6,930	0	20,000	543,723	22,325	4.1
7 積立金	264,597	206,753	3.1%	0	87,392	0	3,911	115,450	△ 57,844	△ 21.9
8 投資及び出資金	4,900	0	0.0%	0	0	0	0	0	△ 4,900	0.0
9 貸付金	107,000	107,000	1.6%	0	0	20,000	87,000	0	0	0.0
10 繰出金	315,828	306,827	4.6%	42,331	0	0	170	264,326	△ 9,001	△ 2.8
11 普通建設事業費	755,637	1,716,150	25.8%	830,331	0	415,200	7,789	462,830	960,513	127.1
うち補助事業費	519,290	1,076,429	16.2%	785,641	0	214,800	0	75,988	557,139	107.3
うち単独事業費	211,679	619,263	9.3%	44,690	0	182,500	7,389	384,684	407,584	192.5
うち県営事業負担金	24,668	20,458	0.3%	0	0	17,900	400	2,158	△ 4,210	△ 17.1
12 災害復旧事業費	613,405	24,370	0.4%	19,315	610	4,300	0	145	△ 589,035	△ 96.0
合計	6,089,009	6,642,306	100.0%	1,345,009	192,165	512,200	311,471	4,281,461	553,297	9.1
歳入振替額	0	0		133,179	9,418	0	345,949	△ 488,546		
歳計剰余金又は翌年度歳入繰上充用金	300,056	236,583		0	0	0	0	236,583		
歳入決算額	6,389,065	6,878,889		1,478,188	201,583	512,200	657,420	4,029,498		

2．歳入の状況（地方財政状況調査報告数値で説明）

（1）概況

令和7年度の歳入決算額の内訳をみると、地方交付税が31億2,532万6千円（前年度比3億86万9千円）で全体の45．4%を占めています。令和7年度は物価や人件費高騰に対して普通交付税が措置され、防災タブレット導入による特別交付税措置が増加したため、前年度比では増加しています。また、国庫補助金については脱炭素推進事業の実施に伴い前年度比で増加している一方、県支出金については災害復旧費の減少により、前年度比減となっています。

村税などの自主財源は15億34万1千円で、前年度より2，706万1千円（1．8%）減となりました。前年度と比較すると、繰越事業費の減少に伴い繰越金が減少している一方、環境衛生施設整備基金等からの繰入による繰入金が増額している状況です。

自主財源等の状況（地方財政状況調査報告数値）　（単位：千円）

区分		令和6年度	令和7年度	増減額	増減率%	構成比
自主財源	村税	628,336	641,338	13,002	2.1	9.3%
	分担金・負担金	6,763	12,754	5,991	88.6	0.2%
	使用料・手数料	101,701	101,027	△ 674	△ 0.7	1.5%
	財産収入	16,626	14,394	△ 2,232	△ 13.4	0.2%
	寄附金	63,051	87,802	24,751	39.3	1.3%
	繰入金	55,426	143,744	88,318	159.3	2.1%
	繰越金	417,770	300,056	△ 117,714	△ 28.2	4.4%
	諸収入	237,729	199,226	△ 38,503	△ 16.2	2.9%
	合計	1,527,402	1,500,341	△ 27,061	△ 1.8	21.8%
依存財源	地方交付税	2,824,457	3,125,326	300,869	10.7	45.4%
	国庫支出金	935,155	1,152,363	217,208	23.2	16.8%
	県支出金	406,753	325,825	△ 80,928	△ 19.9	4.7%
	地方譲与税等	269,106	262,834	△ 6,272	△ 2.3	3.8%
	村債	426,192	512,200	86,008	20.2	7.4%
	合計	4,861,663	5,378,548	516,885	10.6	78.2%

一般財源の推移（地方財政状況調査5表より）　（単位：千円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度増減	
							増減額	増減率%
村税	671,125	661,036	658,383	647,205	628,336	641,338	13,002	2.1
地方譲与税	86,268	85,056	87,003	87,593	91,157	92,519	1,362	1.5
地方消費税交付金	121,882	130,349	127,779	125,879	130,122	140,521	10,399	8.0
自動車取得税交付金	0	0	46	718	2	0	△ 2	△ 100.0
自動車環境性能割交付金	4,876	5,898	5,757	6,406	8,893	8,151	△ 742	△ 8.3
地方交付税	2,410,919	2,839,763	3,013,441	2,908,503	2,824,457	3,125,326	300,869	10.7
繰入金	4,251	5,586	3,666	3,392	14,551	23,502	8,951	61.5
繰越金	143,132	213,238	267,310	349,161	393,195	283,193	△ 110,002	△ 28.0
減収補てん債	6,700	0	0	0	0	0	0	0.0
臨時財政対策債	96,500	92,600	33,200	14,557	6,592	0	△ 6,592	△ 100.0
その他	222,851	295,590	290,870	286,124	212,024	203,494	△ 8,530	△ 4.0
合計	3,768,504	4,329,116	4,487,455	4,429,538	4,309,329	4,518,044	208,715	4.8

地方交付税の推移　（単位：千円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度増減	
							増減額	増減率%
基準財政需要額	2,996,173	3,314,233	3,253,867	3,267,999	3,243,910	3,355,713	111,803	3.4
基準財政収入額	722,585	856,630	704,595	866,402	695,401	705,109	9,708	1.4
普通交付税	2,272,057	2,658,817	2,549,272	2,567,442	2,567,274	2,650,604	83,330	3.2
特別交付税	138,862	180,946	464,169	341,061	257,183	474,722	217,539	84.6

村税の推移　　（単位：千円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度増減	
							増減額	増減率%
村民税	199,859	199,609	200,468	191,651	184,881	203,041	18,160	9.8
固定資産税	405,940	392,090	386,539	383,068	372,255	368,009	△ 4,246	△ 1.1
入湯税	11,654	12,641	11,075	12,086	12,472	12,304	△ 168	△ 1.3
その他の税	53,672	56,696	60,301	60,400	58,728	57,984	△ 744	△ 1.3
合計	671,125	661,036	658,383	647,205	628,336	641,338	13,002	2.1

（2）歳入決算額に現れた特徴点（対前年度10%以上の増減があったもの）　　（単位：千円）

区分	対前年度増減額	増減率	増減の主な原因
地方特例交付金	△ 18,549	△ 92.5	定額減税減収補填分の減によるもの
地方交付税	300,869	10.7	増加：普通交付税83,330千円、特別交付税217,539千円（うち緊急防災・減災事業（単独）（防災タブレット導入）183,392千円皆増）
国庫支出金	217,208	23.2	増加：脱炭素先行地域づくり事業国庫補助金443,202千円 減少：公共土木施設災害復旧費国庫負担金240,667千円(皆減)
県支出金	△ 80,928	△ 19.9	減少：農地農業用施設災害復旧事業県補助金35,496千円、林道災害復旧費県補助金108,803千円(皆減) 増加：農業農村整備事業県補助金19,737千円、地域活性化推進事業県補助金10,170千円、中山間地域等直接支払交付金8,269千円
繰入金	88,318	159.3	増加：環境衛生施設整備基金繰入金60,000千円(皆増)、ふるさと応援基金繰入金23,200千円
繰越金	△ 117,714	△ 28.2	減少：前年度繰越金（事故繰越）102,062千円(皆減)
地方債	86,008	20.2	増加：緊急防災・減災事業債95,000千円、過疎対策事業債81,400千円 減少：災害復旧事業債73,000千円

3. 歳出の状況（地方財政状況調査報告数値で説明）

（1）目的別決算の状況

目的別決算額では、総務費が24億6,075万7千円で全体の37.0%を占め第1位、民生費が2位で14.7%、次いで土木費が第3位で10.2%、以下、公債費、衛生費、農林水産業費、教育費、商工労働費、消防費、議会費、災害復旧費の順となっています。なお、前年度比で大幅な増減のある費目は次のとおりです。

総務費は前年度比10億997万6千円増（+69.6%）と、大幅な増加となりました。国の先行地域に指定された脱炭素推進事業の工事費の増加や、防災無線の更新工事が主な要因です。

衛生費は前年度比23.2%の増。主に旧ごみ焼却施設解体等事業負担金の増加によるものです。

教育費は前年度比14.9%の増。主に小中学校の給食費減免に必要な負担金や、ICT機器（中学校生徒分タブレット）の購入によるものです。

商工労働費は前年度比11.3%の増。主に道の駅の旧食堂等解体によるものです。

災害復旧費は前年度比△96.0%の減です。

（2）性質別決算の状況

性質別決算額では、普通建設事業費が全体の25.8%を占め第1位、第2位が物件費で17.3%、第3位が補助費等で15.4%、第4位が人件費で14.8%となっています。近年の物価高騰、人件費高騰の影響が出ています。前年度比で大幅な増減のある費目については次のとおりです。

普通建設事業の国庫補助事業は、前年度比107.3%の増額となりました。国の先行地域指定を受けた脱炭素推進事業として、マイクログリッド工事を行ったことが主な要因です。また、地方単独事業は、前年度比231.1%の増でした。これは主に防災無線更新工事の実施によるものです。

補助費等は、前年度費15.1%の増額となりました。主に旧ごみ焼却施設解体等事業負担金、地域公共交通活性化協議会補助金、簡易水道事業会計補助金が増額したことによるものです。

災害復旧事業費は、前年度費96.0%の減額となりました。令和4年8月豪雨災害の災害復旧事業費が減額となったことによるものです。

積立金は、前年度費21.9%の減額となりました。財政調整基金への積立を行った一方、庁舎管理基金やむらづくり総合対策基金への積立額が減少したことによるものです。

性質別経費の状況

区分	令和6年度	令和7年度	増減額	増減率%	構成比
義務的経費	1,744,862	1,839,265	94,403	5.4	27.7%
うち人件費	906,456	982,330	75,874	8.4	14.8%
うち扶助費	290,078	286,282	△ 3,796	△ 1.3	4.3%
うち公債費	548,328	570,653	22,325	4.1	8.6%
投資的経費	1,375,197	1,740,520	365,323	26.6	26.2%
うち普通建設事業費	755,637	1,716,150	960,513	127.1	25.8%
うち補助事業費	519,290	1,076,429	557,139	107.3	16.2%
うち単独事業費	187,011	619,263	432,252	231.1	9.3%
うち県営事業ほか負担金	24,668	20,458	△ 4,210	△ 17.1	0.3%
うち災害復旧事業費	613,405	24,370	△ 589,035	△ 96.0	0.4%
その他の経費	2,968,950	3,062,521	93,571	3.2	46.1%
うち物件費	1,111,866	1,146,424	34,558	3.1	17.3%
うち補助費等	890,110	1,024,090	133,980	15.1	15.4%
うち積立金	264,597	206,753	△ 57,844	△ 21.9	3.1%
うち貸付金	107,000	107,000	0	0.0	1.6%
うち繰出金	315,828	306,827	△ 9,001	△ 2.8	4.6%
うちその他	279,549	271,427	△ 8,122	△ 2.9	4.1%
歳出合計	6,089,009	6,642,306	553,297	9.1	100.0%

人件費の内訳（地方財政状況調査15表より）

（単位：千円）

区　分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度	
					増減額	増減率%
1 議員報酬・手当	28,857	28,654	30,163	32,675	2,512	8.3
2 委員等報酬	131,780	132,907	140,864	152,125	11,261	8.0
3 村長、副村長、教育長給与	26,323	26,510	17,804	18,547	743	4.2
4 職員給	517,909	514,868	521,626	566,464	44,838	8.6
5 共済組合負担金	109,736	110,008	107,123	118,408	11,285	10.5
6 退職手当組合負担金	68,093	70,740	68,228	72,200	3,972	5.8
7 公務災害補償基金負担金	644	650	637	687	50	7.8
8 その他	19,495	20,339	20,011	21,224	1,213	6.1
合　計	902,837	904,676	906,456	982,330	75,874	8.4

※その他は、会計年度任用職員に係る社会保険料を計上。

物件費の内訳（地方財政状況調査89表より）

（単位：千円）

区　分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度	
					増減額	増減率%
1 旅費	8,261	9,069	8,339	7,856	△ 483	△ 5.8
2 交際費	398	1,091	874	913	39	4.5
3 需用費	251,951	110,094	107,622	120,727	13,105	12.2
4 役務費	35,284	31,059	29,429	29,099	△ 330	△ 1.1
5 備品購入費	18,831	25,228	13,794	36,073	22,279	161.5
6 委託費	922,484	826,071	879,089	860,282	△ 18,807	△ 2.1
7 その他	71,249	83,410	72,719	91,474	18,755	25.8
合　計	1,308,458	1,086,022	1,111,866	1,146,424	34,558	3.1

※R2年度から、会計年度任用職員制度が開始され、臨時雇用賃金は人件費として計上。

補助費等の状況（地方財政状況調査19表より）

（単位：千円）

区　分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度	
					増減額	増減率%
1 一部事務組合負担金	18,721	22,192	21,790	22,182	392	1.8
2 一部事務組合以外の負担金	129,638	102,058	101,490	178,808	77,318	76.2
3 補助交付金	950,308	733,179	730,841	753,499	22,658	3.1
4 その他	53,392	84,273	35,989	69,601	33,612	93.4
合　計	1,152,059	941,702	890,110	1,024,090	133,980	15.1

普通建設事業等の状況（地方財政状況調査13表、21～23表より）

（単位：千円）

区　分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度	
						増減額	増減率%
普通建設事業		487,764	711,341	755,637	1,716,150	960,513	127.1
	補助事業	165,382	124,638	519,290	1,076,429	557,139	107.3
	単独事業	275,818	540,344	211,679	619,263	407,584	192.5
	県営事業・負担金	46,564	46,359	24,668	20,458	△ 4,210	△ 17.1
	受託事業費	0	0	0	0	0	0.0
災害復旧事業		636,076	1,515,300	613,405	24,370	△ 589,035	△ 96.0
	補助事業	544,209	1,342,705	557,458	24,370	△ 533,088	△ 95.6
	単独事業	91,867	172,595	55,947	0	△ 55,947	△ 100.0
合　計		1,123,840	2,226,641	1,369,042	1,740,520	371,478	27.1

4. 財務内容の分析

(1)健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に資することを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に施行されました。これを受け、村では従来の実質公債費比率に加え、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率の4つの比率を算定しました。いずれも、国が示す基準比率を下回っており、法律に基づく財政再生計画等を策定する状況にはありません。

①実質赤字比率

一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。一般会計は黒字決算されており、該当ありません。

②連結実質赤字比率

一般会計のほか、すべての特別会計を含んだ実質赤字又は資金不足額の標準財政規模に対する比率。いずれの会計も黒字決算されており、該当ありません。

③実質公債費比率

公債費の標準財政規模に対する比率の3ヶ年平均です。村の全会計のほか、一部事務組合等が起こした地方債の償還に充てたものも含めて算定します.。

令和7年度は公債費は増加しているものの、算定の分母となる標準税収入額と普通交付税額が増加したことにより比率は減少しました。これにより、3ヶ年平均では0.7ポイントの減少となりました。しかし、今後は災害復旧事業債の償還が本格化するため、一時的に比率が上昇すると予測されます。

なお、この比率は、平成18年度からの地方債協議制度移行に伴い、地方債の信用維持等の観点からも用いられています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単　年　度	11.5	13.3	12.5	11.8	11.2
3か年平均	10.9	12.0	12.4	12.5	11.8

18.0以上になると起債の許可が必要。25.0以上になると財政健全化計画の策定が必要。

35.0以上になると財政再生計画の策定が必要となる。

④将来負担比率

村が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。村全会計の地方債残高と基金残高、債務負担行為等に基づく将来負担などから算定し、一部事務組合等の地方債に対する将来負担のほか、全職員の退職手当等も加味されています。令和7年度は、公営企業会計の地方債償還が進んだことと基金残高の増加等により、2.3%となりました。

なお、350%以上になると財政健全化計画の策定などが必要とされています。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
比　率	16.7	13.7	2.3

(2)財政力指数

全国的にみて標準的な行政を行うための経費と、それを賄うために用意できる標準税率での収入の比較を財政力指数といいます。本村は県平均を下回っており、かなり低い状態にあります。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	県平均(3年度)
単　年　度	0.217	0.215	0.214	0.210	0.473
3か年平均	0.222	0.214	0.215	0.213	0.480

（3）経常収支比率

経常収支比率は、経常一般財源に占める経常経費に充てた一般財源の割合で、財政構造の弾力性を測る指数です。

令和7年度は前年度より1．0ポイント増加しました。これは主に物価高騰や人件費高騰による固定費の増加によるものです。今後は、人口減少等に伴う普通交付税の減少が見込まれますので、経常収支比率は上昇していくことが予測されます。

経常収支比率の推移　（単位：千円）

区　分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常的収入　A	3,822,526	3,838,785	3,850,859	3,962,599
経常的経費　B	3,420,768	3,447,280	3,426,087	3,560,376
経常的一般財源　C	3,455,661	3,465,855	3,478,282	3,568,517
経常的経費に充てた一般財源　D	3,011,703	3,018,750	3,002,810	3,111,394
経常的一般財源の余剰　C－D	443,958	447,105	475,472	457,123
経常収支比率（％）　D／C （）は、臨財債発行額等を除いた数値	(87.2) 86.3	(87.1) 86.7	(86.3) 86.2	(87.2) 87.2
（参考）普通地方交付税	2,549,272	2,567,442	2,567,274	2,650,604
臨時財政対策債発行額等	33,200	14,557	6,592	0
合　計	2,582,472	2,581,999	2,573,866	2,650,604

費目別経常収支比率の推移　（単位：%）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費	21.4	24.2	24.1	23.9	25.4
物件費	18.2	20.1	20.3	21.1	21.4
維持補修費	4.0	3.8	3.9	5.1	5.1
扶助費	2.3	2.6	2.5	2.8	2.2
補助費等	10.9	11.2	10.9	10.8	10.8
公債費	16.8	16.7	17.1	15.1	15.2
繰出金	7.6	7.8	8.0	7.4	7.1
合計	81.1	86.3	86.7	86.2	87.2

※費目（合計）ごとで比率を算出するため、合計が一致しない場合があります。

第3節　特別会計

1. 国民健康保険事業特別会計

令和7年度の決算額は、歳入6億1，996万6千円、歳出6億1，241万7千円となりました。この結果、実質収支は754万9千円となりました。

決算額（歳入）　（単位：千円）

年度	歳入決算額	国民健康保険税	国　庫支出金	療養給付費交付金	前期高齢者交付金	県支出金	共同事業交付金	その他	備考
R6	625,077	72,975	225	0	0	482,626	0	69,251	
R7	619,966	86,772	0	0	0	479,709	0	53,485	

決算額（歳出）　（単位：千円）

年度	歳出決算額	保　険給付費	医療給付納付金	後期高齢者支援金等	介護納付金	直診勘定操出金	保健事業費	その他	備考
R6	614,493	474,106	88,690	29,959	8,369	0	3,704	9,665	
R7	612,417	471,961	80,475	27,954	7,738	0	3,405	20,884	

2. 国民健康保険関川診療所特別会計

令和7年度の決算額は、歳入9，163万7千円、歳出は8，329万2千円となりました。この結果、実質収支は834万5千円となりました。

決算額の推移　（単位：千円）

年度	歳入決算額	診療収入	繰入金	その他	歳出決算額	施　設管理費	医業費	その他
R6	97,116	80,850	0	16,266	86,886	72,617	13,366	903
R7	91,637	80,624	0	11,013	83,292	69,286	13,103	903

3. 介護保険特別会計

令和7年度の決算額は、歳入9億2，696万1千円、歳出8億4，272万3千円となりました。この結果、実質収支は8，423万8千円となりました。

決算額（歳入）　（単位：千円）

年度	歳入決算額	介　護保険料	支払基金交付金	国　庫支出金	県支出金	一般会計繰入金	基　金繰入金	その他	備考
R6	931,720	157,824	213,592	212,428	119,657	136,200	0	92,019	
R7	926,961	157,839	216,099	208,698	120,287	137,100	0	86,938	

決算額（歳出）　（単位：千円）

年度	歳出決算額	総務費	保険給付費	地域支援事業費	諸支出金	備考
R6	845,250	24,427	754,982	18,059	47,782	
R7	842,723	26,741	772,654	18,881	24,447	

4. 後期高齢者医療特別会計

令和7年度の決算額は、歳入9，043万3千円、歳出9，027万4千円となり、この結果、実質収支は15万9千円となりました。

決算額の推移

（単位：千円）

年度	歳入決算額	保険料	県補助金	一般会計繰入金	その他	歳出決算額	総務費	保健事業費	広域連合納付金	その他
R6	80,644	54,169	0	25,943	532	80,301	2,185	395	77,594	127
R7	90,433	60,705	0	25,262	4,466	90,274	2,815	4,263	83,138	58

5. 村有温泉特別会計

令和7年度の決算額は、歳入213万9千円、歳出213万9千円となりました。この結果、実質収支は0円となりました。

決算額の推移

（単位：千円）

年度	歳入決算額	温泉使用料	繰入金	村債	その他	歳出決算額	施設管理費	施設整備費	基金積立金	公債費
R6	12,226	1,248	8,300	0	2,678	12,134	3,878	6,104	0	2,152
R7	2,139	0	1,578	0	561	2,139	0	0	0	2,139

※令和6年9月から、湯沢温泉は湯沢温泉管理共同組合へ事業移管しました。
それに伴い、村有温泉特別会計は令和7年度末で廃止されました。

6. 宅地等造成特別会計

令和7年度の決算額は、歳入196万9千円、歳出0千円となりました。この結果、実質収支は196万9千円となりました。

決算額の推移

（単位：千円）

年度	歳入決算額	宅地分譲収入	一般会計繰入金	その他	歳出決算額	宅地造成事業費	公債費	その他
R6	1,969	0	0	1,969	0	0	0	0
R7	1,969	0	0	1,969	0	0	0	0

第4節　公営企業会計

１．下水道事業

下水道事業は、令和２年度に会計移行を行い地方公営企業法の一部を適用し、特定環境保全公共下水道事業と農業集落排水事業の２事業を合わせて１つの下水道事業として運営を行っています。

（1）収益的収支

総収益は3億7,426万8千円、総費用は3億9，764万9千円で差引純損失2，338万1千円を計上しました。

（2）資本的収支

資本的収支では、収入と支出の差額8，314万5千円を内部留保資金で充当しました。
主な支出は、滝原（松平）地内下水道管更正工事、橋場2号マンホールポンプ更新工事、せきかわ浄化センター省エネ改修工事の建設改良費及び企業債の償還です。なお、新たに企業債1億790万円の借入れを行いました。

収益的収支決算状況　（消費税及び地方消費税を含まない）

（単位：千円）

区　分		令和6年度（B）	令和7年度（B）	差　引　（C）	増減率（C）／（A）
収益的収支	総収益	357,473	374,268	16,795	4.7
	総費用	352,986	397,649	44,663	12.7
	差引純利益（損失）	4,487	△ 23,381	△ 27,868	△ 621.1
	前年度繰越利益剰余金	52,181	56,668	4,487	8.6
	未処分利益剰余金	56,668	33,287	△ 23,381	△ 41.3
	（未処理欠損金）				

資本的収支決算状況　（消費税及び地方消費税を含む）

（単位：千円）

区　分		令和6年度（B）	令和7年度（B）	差　引　（C）	増減率（C）／（A）
資本的収支	資本的収入	252,721	287,885	35,164	13.9
	資本的支出	332,495	371,030	38,535	11.6
	差引	△ 79,774	△ 83,145	△ 3,371	4.2
	（補填財源）				
	内部留保資金	79,774	83,145	3,371	4.2
	その他				

貸借対照表（令和8年3月31日）

（単位：千円）

科　目	金　額	科　目	金　額	備考
（資産の部）		（負債の部）		
固定資産	7,158,659	固定負債	1,755,665	
流動資産	203,714	流動負債	319,325	
		繰延収益	5,028,627	
		（資本の部）		
		資本金	188,931	
		剰余金	69,825	
資産合計	7,362,373	負債・資本合計	7,362,373	

２．簡易水道事業

簡易水道事業は、令和２年度から旧上水道と旧簡易水道を統合し、地方公営企業法適用簡易水道として運営を行っています。

（1）収益的収支

総収益は2億2，250万3千円、総費用は1億6，856万6千円で差引純利益5，393万7千円を計上しました。その結果、当年度未処分利益剰余金は9，755万円となりました。

（2）資本的収支

資本的収支では、収入と支出の差額8，562万8千円を内部留保資金で充当しました。

主な支出は、金丸水源地計装盤等更新工事等の建設改良工事費及び企業債の償還です。なお、建設改良工事及び設計委託に対して、新たに企業債7，790万円を借入れました。

収益的収支決算状況　（消費税及び地方消費税を含まない）　（単位：千円）

区　分		令和6年度（B）	令和7年度（B）	差　引　（C）	増減率（C）／（A）
収益的収支	総収益	212,320	222,503	10,183	4.8
	総費用	167,145	168,566	1,421	0.9
	差引純利益（損失）	45,175	53,937	8,762	19.4
	前年度繰越利益剰余金	39,235	24,410	△ 14,825	△ 37.8
	その他未処分利益剰余金変動額	28,456	19,203	△ 9,253	△ 32.5
	未処分利益剰余金	112,866	97,550	△ 15,316	△ 13.6

資本的収支決算状況　（消費税及び地方消費税を含む）　（単位：千円）

区　分		令和6年度（B）	令和7年度（B）	差　引　（C）	増減率（C）／（A）
資本的収支	資本的収入	191,275	77,900	△ 113,375	△ 59.3
	資本的支出	280,524	163,528	△ 116,996	△ 41.7
	差引	△ 89,249	△ 85,628	3,621	4.1
	（補填財源）				
	内部留保資金	89,249	85,628	△ 3,621	△ 4.1
	その他			－	－

貸借対照表（令和8年3月31日）　（単位：千円）

科　目	金　額	科　目	金　額	備考
（資産の部）		（負債の部）		
固定資産	2,126,444	固定負債	801,550	
流動資産	232,020	流動負債	84,157	
		繰延収益	858,107	
		（資本の部）		
		資本金	362,549	
		剰余金	252,101	
資産合計	2,358,464	負債・資本合計	2,358,464	

第5節　基金

1．基金　　※令和8年5月31日時点　（決算書の基金現在額は令和8年3月31日現在）

積立基金（歳入歳出決算ベースで作成）

（単位：千円）

種別		令和6年度末現在高	令和7年度中増減		令和7年度末現在高
			積立金	取崩額	
1	財政調整基金	670,754	81,471	0	752,225
2	庁舎管理基金	189,473	320	0	189,793
3	村債管理基金	128,965	9,069	14,652	123,382
4	むらづくり総合対策基金	338,470	20,570	0	359,040
5	ふるさと応援基金	127,303	87,557	55,600	159,260
6	過疎地域自立促進事業基金	37,381	70	0	37,451
内訳	若者共同住宅事業基金	0	0	0	0
内訳	通学定期券助成事業基金	27,050	70	0	27,120
内訳	越後下関駅管理事業基金	10,331	0	0	10,331
7	社会福祉総合対策基金	126,779	220	0	126,999
8	環境衛生施設整備基金	135,634	230	60,000	75,864
9	村営霊園管理基金	2,142	30	0	2,172
10	農業振興対策基金	31,334	60	0	31,394
11	森林環境基金	12,849	6,666	0	19,515
12	商工観光振興対策基金	89,879	150	0	90,029
13	スキー場対策基金	13,749	30	0	13,779
14	住宅新築資金貸付金等整理基金	0	0	0	0
15	教育施設整備基金	180,952	310	0	181,262
小計		2,085,664	206,753	130,252	2,162,165
特別会計	16　国民健康保険財政調整基金	95,275	100	0	95,375
特別会計	17　診療所管理基金	58,079	100	0	58,179
特別会計	18　介護保険給付準備基金	236,485	450	0	236,935
特別会計	19　村有温泉管理基金	470	0	470	0
小計		390,309	650	470	390,489
合計		2,475,973	207,403	130,722	2,552,654

※積立金には運用利子積立金を含む

運用基金

（単位：千円）

種別		令和6年度現在高	令和7年度中の増減	令和7年度末現在高	金額と運用状況		
					土地	貸付金	預金等
1	土地開発基金	104,113	170	104,283	7,229		97,054
2	奨学金基金	67,320	0	67,320		40,615	26,705
合計		171,433	170	171,603	7,229	40,615	123,759

ふるさと応援基金（ふるさと納税）内訳

（単位：千円）

区分		令和7年度			累計
		件数	寄附金額	取崩額	寄附金額
使途	人口減少抑制政策に関する事業	715	21,244	4,100	48,512
	環境保全に関する事業	330	10,575		31,548
	教育振興に関する事業	208	4,291	8,300	10,791
	文化・スポーツ振興に関する事業	89	1,662		3,640
	都市との交流促進に関する事業	28	753		24,851
	福祉・医療に関する事業	310	8,563		163,805
	指定なし	1,357	40,249	43,200	320,148
	合　計	3,037	87,337	55,600	603,295

企業版ふるさと納税内訳

区分		令和7年度			累計
		件数	寄附金額	取崩額	寄附金額
使途	住みよい暮らしを推進する事業	2	400		600
	地域を担う産業を振興する事業				250
	交流から定住へ促進する事業				
	切れ目のない子育てを支援する事業				
	みんながいきいきと暮らすことを支援する事業				
	無駄のない行財政運営事業				
	合　計	2	400	0	850

企業版ふるさと納税（物品寄附）

寄附企業	寄附品	寄附相当金額	設置場所	事業名称
DENBA JAPAN(株)	DENBA Health（ﾃﾞﾝﾊﾞﾍﾙｽ）2台 ※健康器具	1,654,364円	コラッシェ	みんながいきいきと暮らすことを支援する事業

ふるさと応援基金充当先内訳

（単位：千円）

充当先事業名称	充当先名称	充当金額
地域振興費	ふるさと納税印刷製本費	6
地域振興費	ふるさと納税決済手数料	362
地域振興費	ふるさと納税謝礼品発送業務	33,869
地域振興費	ふるさと納税システム使用料	4,463
地域振興費	空き家活用家財道具撤去補助金	253
地域振興費	空き家リフォーム補助金	3,368
地域振興費	結婚新生活支援事業補助金	500
学校管理費	関川小学校教材備品購入（タブレットほか）	5,000
学校管理費	関川中学校教材備品購入（タブレットほか）	3,279
学校管理費	重要文化財補修等管理事業補助金	4,500
合計		55,600

第6節　村債と債務負担行為

1．村　債

1）概況

各会計における地方債残高は次のとおりです。

一般会計については償還元金が発行額を上回ったため、地方債残高は4，020万3千円減少しました。

特別会計及び公営企業会計は元金償還が進んでおり、特に下水道事業会計の残高は2億545万9千円減少しました。

村債の概況（地方財政状況調査報告数値）　（単位：千円）

会計区分	令和6年度末 地方債残高	令和7年度		令和7年度末 地方債残高
		発行額	償還元金	
一　般　会　計	4,928,010	512,200	552,403	4,887,807
関川診療所特別会計	11,268	0	877	10,391
宅地等造成事業特別会計	0	0	0	0
村有温泉特別会計	2,130	0	2,130	0
下水道事業会計	2,276,701	107,900	313,359	2,071,242
簡易水道事業会計	886,373	77,900	82,784	881,489
合　計	8,104,482	698,000	951,553	7,850,929

※一般会計は、地方産業育成資金県貸付金20,000千円を含み、特別会計に係る過疎、辺地債借入は含まない。

※令和2年度に実施した法適用化による会計移行に伴い、下水道事業会計は公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計、簡易水道事業会計は水道事業会計と簡易水道特別会計を合算した数値を計上。

（単位：千円）

会計区分	令和7年度末 地方債残高	1.0%未満	3.0%未満	5.0%未満
一　般　会　計	4,887,807	3,873,557	1,014,250	
関川診療所特別会計	10,391	10,391		
宅地等造成事業特別会計	0	※H28年度末以降、地方債残高なし		
村有温泉特別会計	0	※R7年度末以降、地方債残高なし		
下水道事業会計	2,071,242	858,154	1,213,088	
簡易水道事業会計	881,489	312,914	568,575	
合　計	7,850,929	5,055,016	2,795,913	

2．債務負担行為

当年度までに議決された債務負担行為は下表のとおりです。

「3．その他」の主なものは、防災無線更新事業と、脱炭素事業である地域マイクログリッド構築事業に係るものです。

債務負担行為目的別内訳

（単位：千円）

区　分		債務負担行為限度額	次年度以降支出予定額	主な内容
1　物件購入等	土地の購入等	0	0	
	建物の購入	0	0	
	製造・工事請負	0	0	
2　債務保証・損失補償		0	0	
3　その他		968,159	3,597	・地域マイクログリッド構築に係る設計業務委託料及び工事費 ・防災無線更新工事及び施工管理委託料 ・大学医学部地域枠負担金
合　計		968,159	3,597	

第7節　資金の運用と借入状況

1．資金の運用と借入れ状況

計画的な予算執行に努め資金効率を高める必要がありますが、工事等の進捗状況の変動等で計画どおりに行かないのが実態です。

村では、昭和58年に、県内では新潟県、新潟市に次いで3番目に指定金融機関の村上信用金庫と当座貸越契約を締結し、効率的な資金確保に努めています。

また、基金の歳計現金運用も行っており、資金の調達及び基金運用の両面で効率的な運用に努めています。

一時借入金の状況

（単位：千円）

現 在 日	借入残高	左の内訳			備　　考
		証書借入	当座貸越	基金の繰替運用	
令和6年4月30日	0	0	0	0	【議決借入限度額】 ①一般会計　10億円 ②下水道事業会計 1億5千万円 ③簡易水道事業会計 5千万円 【当座貸越限度額】 3億円 【指定金融機関】 村上信用金庫 関川支店 ※R7年度は、3月に2億円基金の繰替運用を行い、当月中に返済したため、利息のみ計上となっている。
5月31日	0	0	0	0	
6月30日	0	0	0	0	
7月31日	0	0	0	0	
8月31日	0	0	0	0	
9月30日	0	0	0	0	
10月31日	0	0	0	0	
11月30日	0	0	0	0	
12月31日	0	0	0	0	
令和7年1月31日	0	0	0	0	
2月28日	0	0	0	0	
3月31日	0	0	0	0	
4月30日	0	0	0	0	
支払利息		0	0	115	

第8節　地方消費税交付金

1．地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

（1）地方消費税交付金の交付額について

（単位：千円）

区　　分		令和6年度	令和7年度	増減額	備　考
地方消費税交付金		130,122	140,521	10,399	
	うち社会保障財源分	74,822	80,803	5,981	

（2）地方消費税交付金の充当状況について

（単位：千円）

事業名		R7事業費	財源内訳			
			特定財源		一般財源	
			国県支出金	その他		うち、地方消費税交付金
民生費	社会福祉総務費 国保会計繰出金	41,859	20,242		21,617	4,985
	老人福祉総務費 後期高齢者医療事業	115,492	17,608		97,884	22,575
	老人福祉総務費 介護保険会計繰出金	137,100	4,481		132,619	30,586
	心身障害者福祉費 心身障害者福祉対策及び医療給付事業	216,929	128,556	12,300	76,073	17,544
	児童措置費 ひとり親家庭医療費助成事業	1,850	945		905	209
	児童措置費 児童手当給付事業	55,883	54,364		1,519	350
衛生費	予防費 感染症予防費	19,194			19,194	4,427
	母子衛生費 医療費助成事業	10,829	3,177	7,100	552	127
合　　計		599,136	229,373	19,400	350,363	80,803

※1　地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて按分して充当しています。